

CPT-11_B(胃)

療法について



お薬の名前と治療のスケジュール

(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	～	28	29	30	31	32	33	34	35	36	～	42	43	～	49										
パロノセトロン注 (アロキシ)	吐き気止めです	15分																																															
デキサメタゾン注 (デキサート)												この週はお休みです。																																					
イリノテカン注	抗がん剤です	90分																							この週はお休みです。															この週はお休みです。						この週はお休みです。			
生理食塩液		15分																																															

治療による副作用

: 注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	～	28	29	30	31	32	33	34	35	36	～	42	43	～	49	
自覚症状	過敏症																																					
			痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																																			
	食欲不振・吐き気																																					
			食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																																			
下痢																																						
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																																				
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																																						
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																																				
検査値	白血球減少																																					
			感染しやすくなりますので、手洗いうがいを中心しましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																																			
	赤血球減少(貧血)																																					
			貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																																			
血小板減少																																						
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																																				



* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。

* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。

* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。

* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。